

Contents

- 2, 3 「中間支援組織」の充実で
非営利・協同を広げよう
- 4 私たち、ワーカーズで働いています！

あなたは世界を導く希望の星

富沢賢治

協同総合研究所顧問、一橋大学名誉教授



富沢賢治さんは、社会的経済、非営利・協同のテーマの研究での第一人者です。今回ワーカーズ・コレクティブ運動が担う社会的意義について寄稿していただきました。

富沢賢治氏 政治経済学者。『社会的経済セクターの分析-民間非営利組織の理論と実践』岩波書店他著書多数

協同組合の役割

ワーカーズ・コレクティブは、多くの国でワーカーズ協同組合と呼ばれているところから分かるように、協同組合として活動しています。

協同組合運動の古典ともなっている国際協同組合同盟『西暦 2000 年における協同組合—ロードロー報告』（1980 年）は、協同組合が地域に果たすべき役割について、つぎのように述べています。

協同組合は、「人と人を結びつけ、孤立社会をコミュニティに転換させるための社会的接着剤となりうる。」「協同組合の偉大な目的」は、地域社会において、「多様な協同組合が、人びとがもっている資源を見出し、それを活用し、生活上の問題を解決するのに貢献する」ことである。

ワーカーズ運動は、このような協同組合運動の最先端を走っています。

重要なことは、このような運動に対する評価が国際的に高まってきていることです。

人類史上最大の問題を解決するために

2000 年に国連は、国際社会がめざすべき目標を「ミレニアム宣言」として発表し、「極度の貧困と飢餓の撲滅」を「ミレニアム開発目標」の第 1 目標としました。

「極度の貧困と飢餓の撲滅」という人類史上

最大の問題を解決するために国連が重視したのは、協同組合などの、地域社会に根ざす住民の自主的な共益組織でした。貧困問題を解決するためには、大企業に依拠する経済成長だけでなく、地域社会に根ざす住民組織の発展が不可欠だと認識したのです。

そのため国連総会は 2001 年に「社会開発における協同組合」という決議を採択し、「社会開発目標の達成、特に貧困の撲滅と雇用の創出、社会的包摂の促進のために協同組合の可能性を開発」するよう、各国政府に求めました。

社会の均衡を支えるものとして

2002 年には ILO（国際労働機関）の第 90 回総会が「協同組合の振興に関する勧告」（6 月 20 日）を決議し、つぎのように述べました。「地域社会の社会的・経済的ニーズにこたえるために、協同組合を含む独自の経済セクターを確立し拡大させることが必要である。」「均衡のとれた社会は、政府セクターと営利企業セクターだけでなく、協同組合、共済団体などを含む社会的セクターを必要とする。そのため、政府は、協同組合を支援するための政策と法的枠組みを提供すべきである。」

さらに高まる評価

協同組合に関する国連の評価は、その後もさらに高まり、2009 年の国連総会決議「社会開発における協同組合」は、2012 年を国際協同組合年と宣言するに至りました。

このように世界の人びとは、協同組合運動に大きな期待をかけています。いつのまにか、あなたは世界を導く希望の星になっているのです。